

南部町電気事業経営戦略について

事業概要

発電所 : 太陽光発電 1箇所「南部町大規模太陽光発電施設」(鶴田)

最大出力 : 1,500kW

発電電力量 : 1,543,000kWh

役割 : 年間約1,000tのCO₂排出量の削減に貢献

経営戦略策定の趣旨

公営企業は独立採算性を原則としており、事業を安定的に継続するため、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む。

計画期間

2017年度～2033年度

経営の基本方針

地球温暖化対策への取り組み及び太陽光発電設備導入を促進するとともに、町有地の有効活用を図るために南部町が発電事業者として太陽光発電事業を実施、環境負荷の小さい地域をつくりあげる。

また、地域経済の活性化のため、施設建設にあたって住民公募債を発行。利率1.0%/年とした。

収支計画

発電した電力は、再生可能エネルギー固定価格買取制度により20年間、全量売電する。売電は、中国電力(株)へ1kWhあたり40円(税抜)、オリックス(株)へ1kWhあたり40.75円(税抜)としている。(2017年時点)

収入見込み 58,320,000円(初めの10年)

51,840,000円(11年目から効率80%を想定)

事業収益は、環境対策事業(新エネルギー設置補助等)、及びまちづくりに活用するとともに、住民公募債、電気事業債の償還原資として「南部町太陽光発電基金」に積み立てる。

【収入】

売電収入 1,858,292,727円(20年間トータル)

【支出】

維持管理経費等(建設費含)

1,363,902,218円(20年間トータル)

【収益】 494,390,509円(見込額)

経営戦略の事後検証

発電量等のモニタリングを実施し、経営戦略の事後検証及び見直しを行う。(起債の繰上げ償還、撤去費用等)

完成図

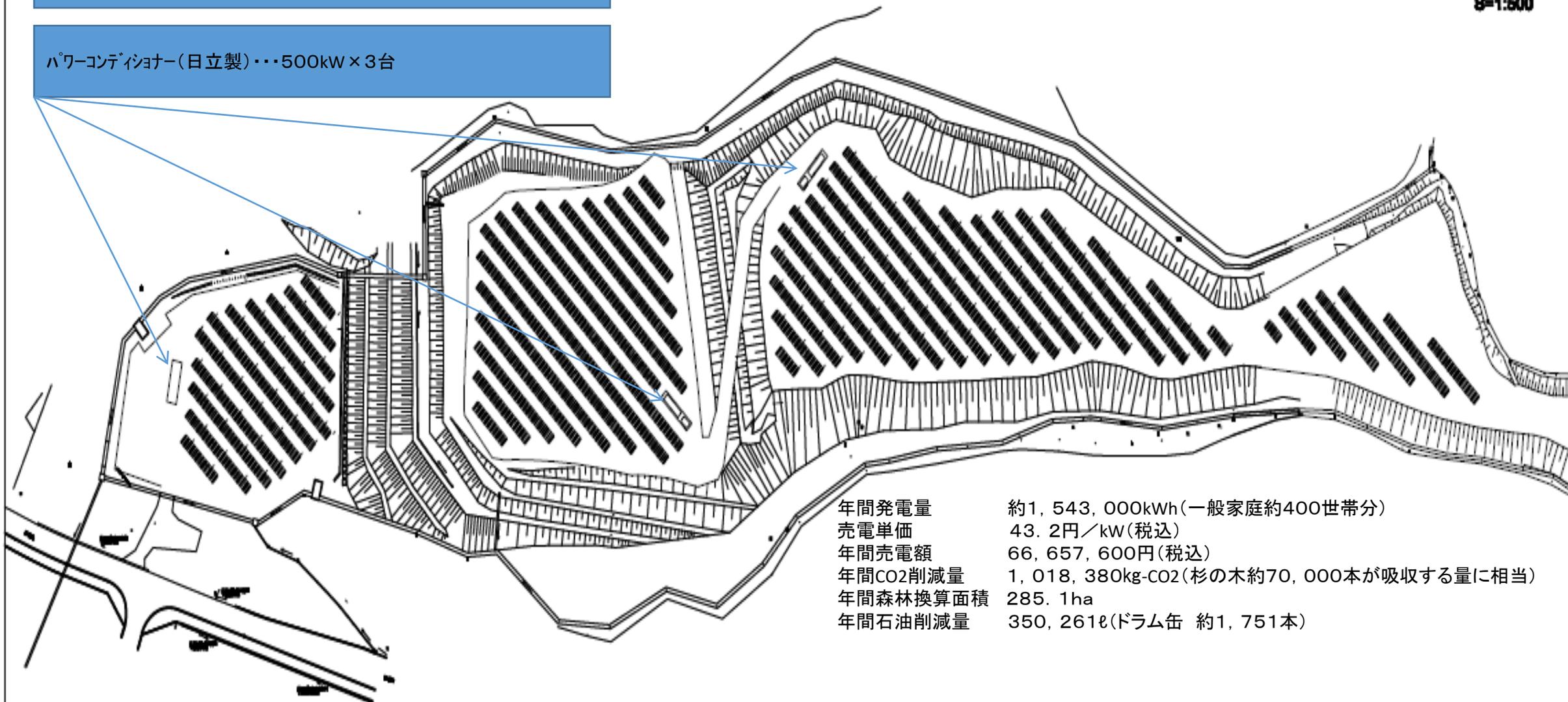
太陽光モジュール(京セラ製)・・・6,300枚∠35°

パワーコンディショナー(日立製)・・・500kW×3台

西伯郡南郷町鶴田



8=1:500



年間発電量	約1,543,000kWh(一般家庭約400世帯分)
売電単価	43.2円/kWh(税込)
年間売電額	66,657,600円(税込)
年間CO2削減量	1,018,380kg-CO2(杉の木約70,000本が吸収する量に相当)
年間森林換算面積	285.1ha
年間石油削減量	350,261ℓ(ドラム缶 約1,751本)

特記事項

1. 2018年度に公募債償還が必要となり、積み立てた基金より100,000,000円を取り崩し、本会計に同額を繰り入れた。それにより、同年収入と併せて元金100,000,000円と利子分を償還した。
2. 設備更新について
 - ①売電メーター・・・2019年度、2026年度
 - ②表示装置　　・・・2019年度、2027年度
 - ③パワコン　　・・・2019年度(部品交換)、2027年度(※取替)これらを計画しているが、機材の状況を見ながら後年度での交換も検討する。
3. 2-③の影響により、2027年度には基金より18,937,592円の繰り入れを予定している。
4. 事業最終年度の2033年度以降は、買取単価の引き下げにより収益が見込めなくなる事や、機材の更新費用、補助金等の事業費、基金積み立て状況などを勘案し、施設自体を撤去するか、事業を継続するのかを見極める必要がある。ただし、発電事業を継続する場合においても、撤去費用を基金に留保しつつ事業を行うこととする。